



TITLE:

哀辞

AUTHOR(S):

京都大学経済学会

CITATION:

京都大学経済学会. 哀辞. 経済論叢 1996, 158(1)

ISSUE DATE:

1996-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/45068>

RIGHT:

經濟論叢

第 158 卷 第 1 号

哀 辞

故 浅沼萬里教授遺影

基軸通貨国ビナイン・ネグレクト論の系譜……本	山 美 彦	1
近世農村舞台の生成と発展……後	藤 和 子	16
中国華南地域における 金融機関の勃興とその性格……姚	国 利	34
ベンチャー企業の研究開発支出の決定要因……蘇	顯 揚	54
芸術支援政策の財政問題（2）……金	武 創	77

記 事

浅沼教授逝く

追悼講演（赤岡 功・青木昌彦・瀬地山敏）

追 悼 談（熊沢 誠・菊谷達弥・三田栄治）

故 浅沼萬里教授略歴・著作目録

平成 8 年 7 月

京 都 大 学 經 濟 學 會

哀 辞

今年4月 経済学部新入生歓迎会は例年同様中庭にあふれるばかりの絢爛たる桜花につつまれていました この晴れやかな祝筵を しながら 浅沼先生と もはや共有することはできませんでした

本会評議員 京都大学教授 経済学博士 浅沼萬里先生は 本年3月23日 春秋60にして急逝されました

先生は 昭和36年京都大学経済学部を卒業後 大学院経済学研究科に進まれ 博士課程の2年次の昭和40年7月に経済学部の助手 そして 昭和59年に教授になりました 本年まで30年以上にわたり本学の杏壇にあって 研究・教育に傾倒されました とくに 組織の経済学的研究と日本企業の長期継続取引の実証的研究において 開拓者として指導的役割を果たされました そして 従来特殊なものとしてその経済的合理性が理解されず 閉鎖的であると欧米から批判をうけることの多かった日本の企業の取引慣行のもつ経済的合理性を 欧米の学界に理解される理論的枠組みで説明し そうした理論の発展をはかるとともに 多くの有益な事実発見を蓄積されてきました これは広く認められている先生の大きな貢献でした

学外におきましても 日本の取引慣行に関する研究成果をもって 公正取引委員会 通商産業研究所 総合研究開発機構 日・EC産業協力センター等で学識を提供され 日本の経済のために大きな寄与をなさいましたし 学内にありましては 国際交流委員 京都大学評議員 経済学部長として尽力されました とりわけ 大学・大学院の制度の変革期に経済学部長をつとめ 大学の発展に煩勞をいとわれませんでした しかし そうした激務が先生のご逝去を早めることになりました 痛恨のいたりです

また 先生は本学会の評議員 あるいは評議員長として 本学会の発展に尽くされとともに 本誌に寄せられた論文は本誌の伝統にさらなる光芒を加えました

この癒し難い喪失感をもって 謹んで先生の遺影をのかかげ 心から哀悼の意を表します

平成8年6月10日

京都大学経済学会